

伊方発電所における通報連絡事象の概要（平成27年10月分）

1. 伊方発電所3号機硫酸第一鉄溶解タンク廻りの溢水について

定期検査中の伊方発電所3号機タービン建屋（管理区域外）において、10月5日11時58分に、硫酸第一鉄*注入装置の異常を示す信号が発信しました。

保守員が現地を確認したところ、12時30分に硫酸第一鉄溶液が硫酸第一鉄溶解タンクからオーバーフローし、防液堤内に溜まっていることを確認しました。

調査の結果、硫酸第一鉄溶解タンクにおいて、硫酸第一鉄を水で溶かすための注水作業中に同タンクの水位計の指示上昇が止まったため、注水状況の確認をしていたところ、当該水位計の指示が急上昇するとともにオーバーフローしたことを確認しました。

なお、同タンクへの補給水弁を閉止し、オーバーフローは停止しました。

また、硫酸第一鉄溶解タンクからのオーバーフローにより漏えいした硫酸第一鉄溶液（約80リットル）は建屋内の防液堤内に溜まっており、発電所外への漏出はありませんでした。

その後、同タンクの水位計の点検を実施した結果、異常はありませんでした。また、硫酸第一鉄溶液が建屋内の防液堤内に溜まっていたため、防液堤内の排水枡の点検を実施した結果、排水枡に詰まりが見られたことから、詰まっていた固形物を除去し、復旧しました。

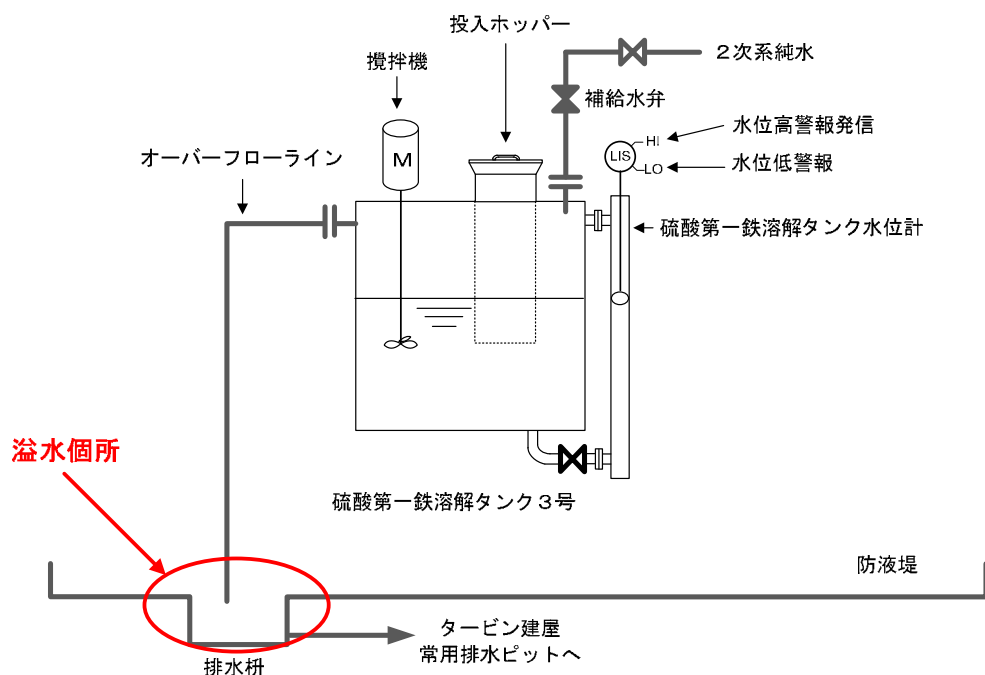
今後引き続き、硫酸第一鉄溶解タンクの水位計の指示が止まった原因および排水枡が詰まった原因について調査します。

なお、本事象によるプラントへの影響および環境への影響はありません。

※ 硫酸第一鉄

原子炉補機冷却水系統等の熱交換器の海水側細管の保護被膜形成のため注入している薬品

伊方発電所3号機 硫酸第一鉄溶解タンク 概略図



2. 伊方発電所 1、2号機 純水装置における塩酸移送ポンプの不具合について

定期検査中の伊方発電所 1、2号機純水装置（屋外）において、純水装置の異常を示す警報が発信したため、保修員により現地を確認したところ、10月20日11時55分頃、塩酸移送ポンプ※¹に異常があることを確認しました。

なお、塩酸の漏えいはありませんでした。

調査の結果、純水装置の脱塩塔※²のイオン交換樹脂を再生するため、塩酸移送ポンプにて、塩酸を通薬していたところ、当該ポンプの主軸と軸受が固着したことにより、モーターが過負荷となり停止したことを確認しました。

また、塩酸受入タンク出口弁（塩酸移送ポンプの入口弁）が「開」であるべきところ、「閉」となっていることを確認しました。

今後、塩酸移送ポンプは取り替えを行うとともに、固着した原因について詳細点検を実施します。また、塩酸受入タンク出口弁が「閉」となっていたことについても調査を実施します。

なお、本事象によるプラントへの影響および環境への影響はありません。

※1 塩酸移送ポンプ

イオン交換樹脂の再生や廃液の中和をするための塩酸を通薬するポンプ

※2 脱塩塔

ろ過水をイオン交換樹脂に通して水に含まれる不純物を除去する装置

伊方発電所 1、2号機 純水装置 塩酸移送ポンプ 概略図

